

丸亀市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和4年度)

丸亀市基礎データ

合併状況:平成17年3月に1市2町が合併
人口:108,541人(令和4年10月現在)
面積:11,183平方キロメートル
【本島町】
人口:276人(令和4年10月末現在)
面積:6.75平方キロメートル

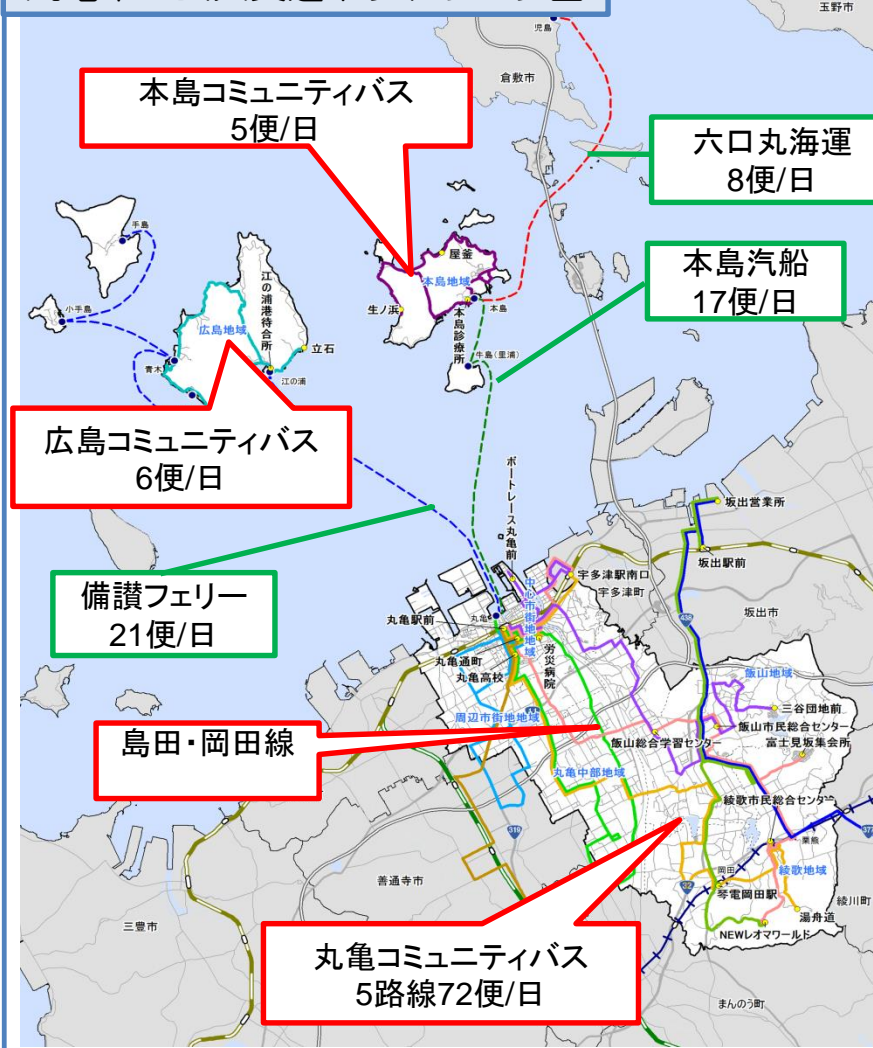
丸亀市における主な公共交通概要

- 鉄道・軌道 JR四国(予讃線)、高松琴平電気鉄道(琴平線)
- バス(幹線)
 - 丸亀コミュニティバス
 - ・丸亀駅を起点とし、旧飯山町と旧綾歌町主要施設を經由し3路線で市内を運行するコミュニティバス
 - 島田・岡田線
 - ・NEWレオマワールド停留所、琴電岡田駅停留所、島田停留所でコミュニティバスとつながり、富熊西沖バス停留所で坂出綾川線と接続する。飯山町、綾歌町から坂出駅まで主に国道438号を走る民間事業路線
- (フィーダー)
 - 丸亀コミュニティバス
 - ・丸亀駅を起点とし、2路線で市内を運行するコミュニティバス
 - 本島コミュニティバス
 - ・丸亀市の離島地域である本島地区を走行する自家用有償旅客運送
 - 広島コミュニティバス
 - ・丸亀市の離島地域である広島地区を走行する自家用有償旅客運送
- 航路
 - ・本島汽船 : 丸亀～本島、丸亀～牛島
 - ・備讃フェリー : 丸亀～広島、小手島、手島
 - ・六口丸海運 : 本島～児島
- タクシー
 - 市内6事業者

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

丸亀市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

香川県 丸亀市 丸亀警察署 琴参バス(株)
丸亀タクシー組合 特定非営利活動法人石の里広島
本島汽船(株) 備讃フェリー(株) 高松琴平電気鉄道(株) JR四国
四国運輸局香川運輸支局 丸亀市老人クラブ連合会
丸亀市身体障害者福祉連合協会
丸亀市コミュニティ協議会連合会
丸亀市民生委員児童委員協議会連合会

前年度の事業評価における課題

(丸亀コミュニティバス)

各便ごとの乗車人員調査を実施し、データを基に路線再編やダイヤの見直しを検討、地域の実情に合った改善やダイヤ改正後の利用者の意見を集約し関係機関と連携して利用促進に取り組み、利用者の拡大につなげる。琴電との乗換についても調整を引き続き行う。

バスロケーションシステム「バスきよん？」のアプリを公開し、利用環境の改善を引き続き取り組む。

高齢者の運転免許返納の促進を図るため、市のHPや交通安全教室等を通じて、バスの利用の拡大に取り組む。

(本島コミュニティバス)

地域住民のニーズの把握や航路との接続性の維持に努めるとともに、観光客に対しても利便性を高める。

定量的な目標・効果

(丸亀コミュニティバス)

目標

利用者数を綾歌宇多津線は42,160人以上(令和3年度実績32,416人)、丸亀東線は32,370人以上(令和3年度実績27,868人)とする。

効果

綾歌宇多津線、丸亀東線を維持することにより、学生や車を持たない高齢者の移動手段が確保される。また、幹線、支線のネットワークが連携することで、効率的に運行体系が確保される。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

(本島コミュニティバス)

目標

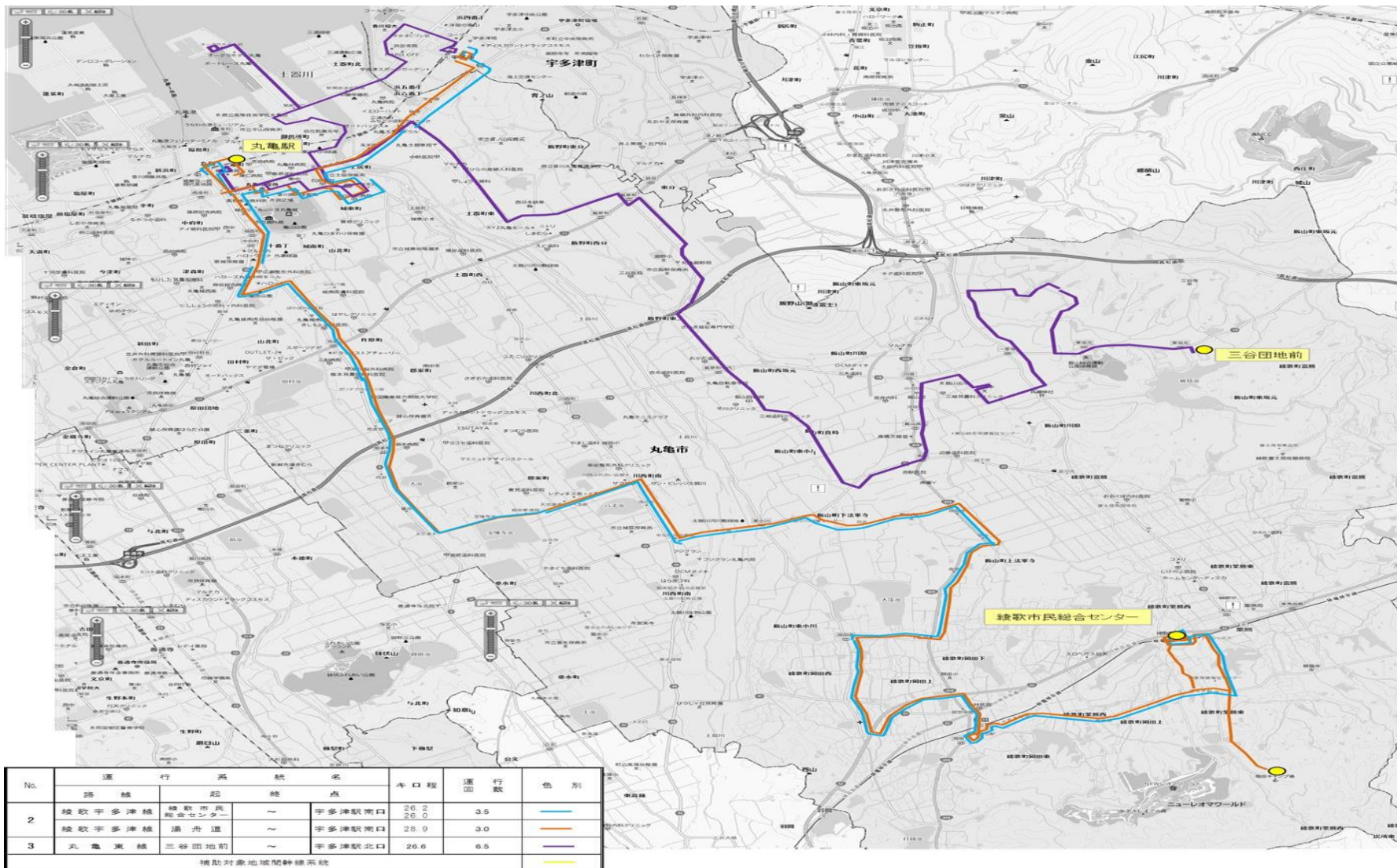
利用者数を3,650人以上(令和3年度実績2,641人)とする。
(1便あたりの輸送量が2人以上)

効果

陸地部への公共交通ネットワークと連携することで、島民の通院、買い物などの交通手段となり、高齢者などの外出機会の確保・創出につながる。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

フィーダー系統図 (綾歌宇多津線・丸亀東線)



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

(丸亀コミュニティバス)

- ・スマートフォンで定期券を購入できるアプリを導入し、利用者の利便性を向上させるとともに、「新しい生活様式」に対応した。
- ・新しくできた公共施設にバス停を新設し、デジタルサイネージを設置した。
- ・丸亀市と連携し、地元自治会等の要望を取り入れ、バス停名をより分かりやすく変更した。
- ・車内にキャッシュレス決済を導入した。

(本島コミュニティバス)

- ・地元住民と今後の運行形態について意見交換会を開催し、意見を集約した。

自己評価

事業実施の適切性

(丸亀コミュニティバス):A

- ・他の公共交通機関との乗り換え等の連携ができており、丸亀駅を起点に公共施設、商業施設、総合病院へのアクセスも充実し、通勤・通学、買い物、通院のための交通の足が確保されている。

(本島コミュニティバス):A

- ・本島発着のフェリー・旅客船及び児島への航路便との接続は維持できている。
- ・複数の路線検索サービスにおいて路線検索が可能となり、特に観光客に対しての利便性を高めることができた。

「定量的な目標・効果」の達成状況

(綾歌宇多津線):B

- ・利用者数は目標の42,160人に対し、36,151人であり、目標に対して6,009人下回り達成できなかった。

(丸亀東線):B

- ・利用者数は目標の32,370人に対し、30,920人であり、目標に対して1,450人下回り達成できなかった

(本島コミュニティバス):B

- ・利用者数は目標の3,650人に対し、3,007人であり、目標に対して643人下回り達成できなかった。

今後の事業に向けた改善点

(丸亀コミュニティバス)

- ・商業施設への乗り入れを検討する。
- ・新モビリティサービス推進事業を活用した混雑情報提供システムを導入し、安心してバスを利用してもらうとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防を図る。
- ・地域公共交通ネットワークの再構築に向け、乗降調査を実施し、路線とダイヤの見直しを行う。
- ・バスの運行状況を確認できる「バスきよん？」の利用者環境を改善するため、アプリを導入し、利用者のアクセス数増加に取り組む。
- ・Googleマップを活用した路線検索をPRし、公共交通の利用促進に努めるとともに、GTFS-JPのオープンデータ化を進め、幅広く路線の情報発信を行う。
- ・高齢者の運転免許返納の推進を図り、バスの利用者の拡大に努める。

(本島コミュニティバス)

- ・地域の実情や利用状況、移動ニーズに沿った運行形態や車両のサイズを検討する。

その他PRポイント

- ・令和3年3月策定の「丸亀市地域公共交通計画」に掲げた各事業について、関係者とともに進捗管理を行いながら取り組む。